

樹幹注入剤
ジノテフラン液剤

ウッドスター[®]

農林水産省登録 第23624号

性状：淡黄色澄明水溶性液体

毒性：普通物（毒物及び劇物に該当しないものを指すという通称）

危険物：非該当

有効年限：4年

包装：450ml×2

有効成分：ジノテフラン(化管法第1種)・・・8.0%

殺虫剤分類 4 A

ウッドスター[®]はサンケイ化学(株)の登録商標です。

特長

○優れた注入性

本剤は、極めて少ない注入量で処理時の注入性を向上することにより、注入作業を時間短縮、大掛かりな散布器具や注入容器も不要で、省力化にお役立ていただけます。

○樹木への負担が小さい

極めて少ない注入量で、樹体への影響を最小限にとどめます。これまで評価した樹木で、薬害が観察された事例はありません。

○安全性

薬液の飛散・環境流出が少ない樹幹注入剤です。有効成分ジノテフランは、人畜・魚類・鳥類に対して毒性の低い成分です。

○効果が長期持続

本剤は、処理適期の1回処理で対象害虫の当年発生を抑えます。少ない注入量でも薬液が樹体内に行きわたり効果を発揮します。

○広い殺虫スペクトル

本剤を各種害虫発生前～発生初期に樹幹注入することにより、速やかに有効成分ジノテフランが葉部へ行き渡り、公園、街路樹等の食葉性・吸汁性の主要害虫を中心に優れた殺虫効果が得られます。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
樹木類 (つばき類を除く)	ケムシ類	胸高直径 6cm～10cm：8～12ml 10cm～20cm：12～24ml 20cm～30cm：24～36ml 30cm～40cm：36～48ml 40cm～50cm：48～60ml 50cm～60cm：60～72ml 以降、直径が10cm増す毎に12mlを追加する	幼虫発生前 ～発生初期 但し 新葉展開後	3回以内	樹幹注入	5回以内
アメリカフウ さくら	イラガ類	胸高直径 6cm～10cm：8～12ml 10cm～20cm：12～24ml 20cm～30cm：24～36ml 30cm～40cm：36～48ml 40cm～50cm：48～60ml 50cm～60cm：60～72ml 以降、直径が10cm増す毎に12mlを追加する	幼虫発生前 ～発生初期 但し 新葉展開後	3回以内	樹幹注入	5回以内
さくら	クビアカツヤ カミキリ	注入部直径 6cm～10cm：8～12ml 10cm～20cm：12～24ml 20cm～30cm：24～36ml 30cm～40cm：36～48ml 40cm～50cm：48～60ml 50cm～60cm：60～72ml 以降、直径が10cm増す毎に12mlを追加する	新葉展開後 ～落葉前まで	3回以内	樹幹注入	5回以内

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
つばき類	チャドクガ	注入部直径 6cm～10cm：2mℓ 10cm～20cm：2～12mℓ 20cm～30cm：12～18mℓ 30cm～40cm：18～24mℓ 40cm～50cm：24～30mℓ 50cm～60cm：30～36mℓ 以降、直径が10cm増す毎に6mℓを追加する	幼虫発生前～発生初期	3回以内	樹幹注入	5回以内 (株元灌注は2回以内)
プラタナス	プラタナス グンバイ	胸高直径 6cm～10cm：2mℓ 10cm～20cm：2～12mℓ 20cm～30cm：12～18mℓ 30cm～40cm：18～24mℓ 40cm～50cm：24～30mℓ 50cm～60cm：30～36mℓ 以降、直径が10cm増す毎に6mℓを追加する	新葉展開後	3回以内	樹幹注入	5回以内
ぶな	ブナハバチ	胸高直径 6cm～10cm：2mℓ 10cm～20cm：2～12mℓ 20cm～30cm：12～18mℓ 30cm～40cm：18～24mℓ 40cm～50cm：24～30mℓ 50cm～60cm：30～36mℓ 以降、直径が10cm増す毎に6mℓを追加する	新葉展開直前	3回以内	樹幹注入	5回以内

使用上の注意事項

- 他剤との混用はさけてください。
- 樹幹の胸高直径または注入部直径が適用表に記載のない小径木や樹勢の弱った木、空洞や腐朽がある木、極端な老齢木には使用をさけてください。
- 適用表の小径木に使用する場合は、専用の注入補助器を挿入し使用、若しくは所定量を2孔以上に分散させてください。
- 対象木が二股以上に分かれている場合は薬剤が問題なく分散する様にそれぞれを1本の木と見なして所定量を注入してください。
- 薬剤注入孔は、ドリル等を用いて注入部位に斜め下方向に45度の角度で開けてください。
- 薬剤の注入部位は以下の樹種、適用病害虫によって設定してください。
 - 樹木類（つばき類を除く）、さくらのイラガ類、アメリカフウ、プラタナス、ぶなに使用する場合は、主幹部の地上高50～100cmを標準としてください。
 - つばき類に使用する場合は、主幹部の地上高10～30cmを標準としてください。
 - クビアカツヤカミキリに使用する場合は、注入部直径により注入量を決定し、注入部位は主幹部の地際部を標準としてください。
 - クビアカツヤカミキリに使用する場合は、すでに被害が認められている樹（多量のフラスが確認されている樹）は薬剤が分散しにくい場合があるので、クビアカツヤカミキリの食入孔をさけ注入してください。
- 薬剤の注入孔（直径、深さ）、注入量は以下の樹種、適用病害虫によって設定してください。
 - 樹木類（つばき類を除く）、さくら、アメリカフウに使用する場合は、直径5～10mm、深さ6～7cmの注入孔を開け、専用注入器を用いて1孔当たり4mℓを注入してください。なお、注入孔直径10mm未満で使用する場合は、必ず専用の注入補助器を注入孔に挿入し使用してください。
 - つばき類のチャドクガ、プラタナスグンバイに使用する場合は、直径5～7mm、深さ6～7cmの注入孔を開け、専用注入器を用いて1孔当たり2mℓを注入してください。なお、注入孔直径7mm未満で使用する場合は、必ず専用の注入補助器を注入孔に挿入し使用してください。
 - ぶなに使用する場合は、直径5～7mm、深さ3～5cmの注入孔を開け、専用注入器を用いて1孔当たり2mℓを注入してください。なお、注入孔直径7mm未満で使用する場合は、必ず専用の注入補助器を注入孔に挿入し使用してください。
- 本剤の使用時期は、以下の樹種、適用病害虫によって設定してください。
 - 樹木類（つばき、マツを除く）に使用する場合は、落花直後や展葉初期には薬剤が分散しにくいので、落花終了後の新葉が十分に展開した後に注入してください。
 - 樹木類（マツ）に使用する場合は、注入時期により、樹脂流失による注入不良が発生するおそれがあるので、注入孔を開けたら直ちに薬剤を注入してください。
 - プラタナスに使用する場合は、落葉期や整枝剪定後の展葉初期には薬液が分散しにくいので、新葉展開後に注入してください。
 - ぶなに使用する場合は、新葉の展開直前に注入することをおすすめします。
 - ケムシ類、イラガ類、チャドクガ、クビアカツヤカミキリを対象として使用する場合は、幼虫発生前に薬剤を注入することをおすすめします。
- 注入孔は癒合剤等で穴を塞ぐなど適切な処理を行ってください。特に地際部で使用した場合は降雨による土壌等の進入のおそれがあるため、必ず処理を行ってください。

- 本剤は処理した後に得られる花、葉、果実、種子等は食用に供しないでください。
- 本剤を処理した樹木をきのご類のほだ木など栽培用には使用しないでください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - 開花期はミツバチ等に影響を及ぼすおそれがあるので、落花終了後に使用してください。
 - 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 本剤は自動車、壁等の塗装面、大理石や御影石等に薬剤が付着すると変色するおそれがあるので、こぼさないように注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は関係機関、関係技術者等の指導を受けてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
なお関係機関、関係技術者等の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

- 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

保管に関する注意事項

- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく冷涼で子供の手の届かない場所に密封して保管してください。